

「京都愛書会」の思い出

住谷 悅治

このよくなつかしい思い出には何回書いても書ききれないような気がするけれど、ともかくはじめのころから書き綴つてみよう。

氏の更生閣書店と書籍会館を根城（ねじろ）として発足したと思う。頗る不確かであるが正確なことは吉田・絲屋・重久諸君のご記憶に俟つかはない。愛書会々規というのは次ぎのようなものであった。

治史関係史料の叢書

、世話人 本会の事務を処理するため世話人若干名を置き、同人会より之を嘱託す
、例会 例会は月一回これを開き、会合に要する費用は其の都度これを徴収す
、本会の事務所を当分、河原町三条「書籍文庫」内に置くといふので今考へても実に堂々たる学会のごとき意図を示していた。
同人としては順序不同に書き連

同人 木会は同人紹介と
新しく同人たるんとする者は同
人二名以上の推薦を要す
、会友 木会の趣旨に賛する者
は隨時会友たり得、申込は事務
所宛のこと、会友には木会の催
の都度これを通知す

事業として近世明治の絵画・書・珍籍・資料・文献の展観・回書いても書ききれないような気がするけれど、ともかくはじめのころから書き綴つてみよう。
昭和十二年の正月ころ川端道一・
絲屋寿雄・小堀峯三重久篤太郎・
吉田由治・日向一・そして、こゝへ
同人、よゐど用賀成二、

季刊
第3号
京都古書研究会
発行
〒604 京都市中京区
東洞院六角七ル
京都府古書籍商業協同組合内
年間購読料 240円
(送料込)

第六号からは表紙は題名・目次・

二

三

K

堂

1

-本年もよろしく——京都古書研究会加盟店-

ムードに乗った 本集めはだめ

司会 今年はどういう古書が売れなくなるでしよう。初版本などどうなりますか。

中村 不景気のおかげ(?)で高度成長時代のような過乗流動性がなくなつたのでムードで売れるようなものはだめです。内容の確かなもの、絶対数が少ないものなどよほど本質が吟味されてゆくでしょ。

中村 それは絶対崩れしません。

藤原 趣味書も同じ傾向といえるのではないかでしようか。ただし美

本でないとだめ。

中村 ただこの分野は景気に敏感に左右されます。景気がもうすぐ

しょくならないと動きは活発にな

りそうにないでしよう。

司会 和本も一時のブームが落着いてきたようですね。明治初期の社会科学系の本も注目されています。他にはどんなものが。

外山 十五年前に発行された絶版書がすでに高くなっている。とくに社会科学系はそうですよ。赤尾 国文関係でも同様です。それ以前のものはほとんどブリンゴされましたからこの年代あたりがさらに高値を呼ぶでしようね。ただあんまり高くなるとまた復刻でしようが……。(笑)

竹岡 コピー、割賦販売

竹岡 コピーも問題でしよう。薄

つぱらい本は必ずコピーされてしまします。

外山 売ることを考えてコピーなんではないよ。

谷 売ることを信じよう。(笑)

藤原 どうもこの問題は新刊書店の方がダメージが大きいようです。

司会 販売方法で新しい試みはないですか。

前田 割賦販売など研究しないと。

赤尾 神田ではすでにやり出していますよ。

谷 これは古書研究会の今年の課題にしてゆきましょう。

司会 目録販売が伸びる

中村 まだまだ実現はむつかしい

赤尾 総合目録にするか専門目録の見直しについてはどうですか。

中村 まだまだ実現はむつかしい

司会 公取委の新刊書の再版制度

中村 まだまだ実現はむつかしい

赤尾 どうな型でなし崩しで実現してゆく

司会 目録販売などもつと工夫する余地がありそうですが。

赤尾 総合目録にするか専門目録にするか。送り先の開拓など問題

外山 今までのようになつた一行で紹介するのではなく、積極的にセ

ールスポットを説明する努力が大切だと思います。

外山 バリバリ仕事しておられる学者には古本屋をうろつく時間も

竹岡 今までのようになつた一行で紹介するのではなく、積極的にセ

ールスポットを説明する努力が大切だと思います。

司会 今年からは目録販売が力を

さて古書研としての事業としては今年はどんなものを企画しておられますか。

中村 秋の文化の日を中心に古本供養や青空市といった古本まつりを去年以上に充実させて行います。

前田 事業と共に今年ぜひ取り組

まねばならぬのは一般消費税の問

題です。お客様のためにも我々がもっと反対するべきです。

司会 公取委の新刊書の再版制度

中村 まだまだ実現はむつかしい

赤尾 どうな型でなし崩しで実現してゆく

司会 こうしてみて

前田 こうなれば古書店は専門店としてその特徴を出して新刊書店

中村 まだ前途洋洋たう

ことでしょう。

司会 ゆっくりと古書店はやり

竹岡 ようによつてはまだ

まだ前途洋洋たう

ことでしょう。

外山 今年もがんばって

藤原 ゆきましよう。

外山 一同 がんばりまし

大盛況の 第二回古本まつり

古本まつり

古書研主催第二回古本まつりを去る十一月三〜五日の三日間百万遍知恩寺山内で開催しました。

初日の文化の日は本堂で古本供養。

京都府知事、市長、商工会議所会頭、府立図書館長、総合資料館長、野光辰先生などご列席いただいたて、

愛書家、業者の持ち寄った不要な古書二万冊を前に河合雅稚上人のお導師で読経。そのあと知恩寺名物の數十冊もある大数珠を、書物への感謝

をこめて参詣者全員でくりました。

供養の済んだ古書はオーナーの手に渡りました。

円均一セール、お心待ちの寄附だけのお持帰りコーナーなどで再び愛書家の手に渡りました。

同時に本堂までの参道両側には古書研会員店が古書即売会の店開き。

書店が古書即売会の店開き。

（写真）超格安の売り出し物が続々。

初日は京都特有のしぐれに見舞われ

ました。が、四、五日は快晴。まつ青な

音を聞きながら古本賣りに、「京都らしい青空市だと好評でした。連日

人出は参道を埋め閉店時間を一時間

も延長するほどの盛況で来年もぜひ

という声しきりでした。

供養本販売の純益金は二十万円。

これを二年後完成する京都市立図書館の児童図書購入基金として寄贈致しました。

も延長するほどの盛況で来年もぜひ

という声しきりでした。

（毎日新聞社提供）



▼船橋京都市長に古本供養のチャリティーピュア金を寄托



東京「文車の会」と文流

東京の古書業界の重鎮、茂雄氏

を会長とし、三十年の伝統をもつ古

書業者の書物研究の会「文車の会」と

古書研は十二月三日京都で交流会を開催しました。お互いの情報交換、今

後の古書店のあり方など活発に討論致しました。

古本よもやま話(二)

木の葉文典の事

若林正治

昭和十年一応三高を卒業して志望の土木科へ入れぬま、私の書物探しは一段と熱心になつたやうだ。東京へ出ると今の錦友館的な宿は一誠堂さんの電車通りを隔てて一筋裏通りに風間館と云うのがあり、時には宿の自転車借りて本屋めぐりをした事もあるが大抵は神田を済ましたあとは本郷三丁目迄電車に乗り、本郷を済ましたら湯島天神を通じ上野黒門町の方へ出たものだ。本郷へ行くのは木内書店に行くのが主な目的だった。井上さんは良い本がうんとあつたがとても私の手に届くものでなく書誌学の本を取り出して又元へ納めるのがせめてものの慰みであった。木内さんは井上様の並びにあり店に入るのに心が躍った。突も当り御主人(先代)の坐つて居られる後ろに一米巾高さ30cm位の本棚があり、その四区割位に横文字の和本が一杯つまつてゐた。端から一冊づき取り出して手にして行くのが此の上もない楽しみであった。今もそうだが木内さんの営業方針は特殊なもので東京でなければそれも帝大正門附近でなければ到底成り立たぬ商売である。抜き刷りも一応表紙をつけて一箇の文献とし

て扱われた。値段も相当高く木内さんへ行くなら半値位に値切らねば断目だと亡くなつた藤園さんに云われたものだ。私はそれ程馴染みでもないし之と之丈下さいと云へば御主人は何も云はぬに二割位は引いて下さった。今手元に大事に取つてある英文法の本がある。

(春和堂書店伏見店々主) (写真は会津八一揮毫の題簽付缺と)

付印が押してあり、14・3・19とあり横に木内 200快哉!!! とある。200とは勿論二円であるが東京迄汽車賃六円五十銭位、うどんが六銭だから、

そう安いものではない。然し余程嬉しかったので書も付けたのである。之は俗に「木の葉文典」と云はれている文法書で写真で見られる通りロンドン版をそのまま、翻刻している。

豊田氏「日本英学史の研究」にも数ヶ所引用されているが写真は無く荒木氏「日本英語学書誌」の「図

版第六十四」に載つてゐる次頁に解説が続いてゐる。終戦直後だつたと思うが、会津八一先生が関西へ度々来られお宿秋艸会関西事務所(?) M邸で何回かお酒のお相手をした折り、「先生は早稲田で英語の先生でせう、どーか之の本の映

古本一口ばなし

(古書目録のこと)

ものは時代と共に、多少の汚れがあるものと解釈できましよう。

古書目録と云つても、多種多様。デパート主催の写真版多数の立派なものから、この冊子の最後に載つているやうな目録と厚冊から小冊子に至る迄なかなか個性豊かなものである。編集の仕方もさまざままで、図書分類法とは違つてなんとかうまく本を売ろうと各書店の色々な工夫も面白い必ず書いてあるものに書名、著者(編者・発行所)、冊数、売価、親切なものはこれ以外に、保存、版型、装幀、頁数、初版、限定版なら限定数、それに署名、識語があるとか、内容がよく分かるよう記載しているものもある。

本で問題にされるが、又、資料、研究書に於いてはある程度、読めればよいと考え、多少の汚は、止むを得ないと考え目録にあまりり保存状態は記載しないようだ。しかし、あまりにも保

存の悪いもの、破損等している場合に限つては、それを記する必要はある。保存状態を手短かに表現する方法として例えれば、

破損の時は、痛いたみ、瑕(きず)摩(ま)れ(する)湿(しみ)濡(ぬ)れ(する)蒸(あ)れたり(する)滲(しみ)虫(紙魚)燒(日に焼けたり、スス汚れ(する)背(せ)の字が読み難くなっている)と書かれている。

たつた一字でその本の姿が目に見えるようだ。これ以外では、小冊子、小本である位の事は記載する必要もある。どこまで

目録に記載するかは業者の主觀で、概に決めるわけにはゆかない。

お客様からは本がよく分からぬ。資料として役立つよう詳

しく記載して欲いと云う御注文もあるものの、やはり、経費の

あるだろうが、それは人手困

難なもの。極美本とはこれ以上、

美しい本が入手不可能と思えるもの、そして何も書いていない

屋にとつての、今後の課題でもともかく目録の記載方法は、本

も帝大正門附近でなければ到底成り立たぬ商売である。抜き刷りも一応表紙をつけて一箇の文献とし

ある。(藤原学)

止めくの所は虫の掛物が洒落たものだらぬ。私としてもひどい虫害でも本としての形はもつてゐる。所が補修のため一枚一枚別して行こうとするところ五裂して何ともならぬ。私としても何も好んでひどい虫喰い本を求めるのではない。本屋としてはひどい虫喰いはつぶしとして下張りにするか、それもならぬのはごみとして捨てられる。かつてさる書店の床下にうず高くつまれた和本があり、手にしてみると太宰春台の紫芝園前後稿の揃いで表紙もとられ中味だけで、ひどい虫害であつた。本書は吉川幸次郎先生も読書の学で引用され、それ迄読んでもなかつたとされ、勿論活字化はされていない。店主にきくと捨てられた。しかしこの補修は大変な根気仕事であったが、私にできる限り役立つ業績は何かと自問する

そのものをあまり見ぬ上に、此の補修なんかなは今後とも患者にとって見られぬ珍景であつたろう。こんな医者では本職の腕はどう疑問をもたれていたかもしれぬ。

補修の実際であるがいさかの準備がいるが必要なのは根気でもある。道具としては婦人科用耳鼻科用の長短、太い細いのビンセット。それに切手用の扁平なさきのビンセット、金属の細長いベーパーナイフもあるとよい。裏張り用の和紙もある。糊は洗濯糊で充分である。小さな虫くいなら、ビンセットで剥し、袋とじ裏表二葉の間へ糊を塗った一枚の和紙をビンセットで挿入、圧着する。簡単であるがひどい虫くいとなると話は別である。表裏の間の離し易い所から剥して行くが、余程細心の注意でやらねばと紙が四離滅裂となる。殊に丸くわれた所がむつかしく剥してしまふと紙が遊離するので別に置き行く後で空いた所へ戻さねばならぬ。数個所もこれべると、どれをどういの補修なんかなは今後とも患者にとって見られぬ珍景であつたろう。こんな医者では本職の腕はどう疑問をもたれていたかもしれぬ。

和本つれづれ

和本二十一

あまり耳慣れない言葉ですが、異った本、世間にありふれてない本、又同一の書名であるのに、その文字や語句等が部分的あるいは全面的に異っている本の事を言います。

古典作品の校本や翻刻本を作る場合には、必ず定本を選ぶ事が最重要で、次に異本との校合が大切となる事となつて来ます。一口に異本と言つても精しくは、句が変化してしまつたものや、意的に添削などしたために、これがくり返されて、原本と甚だしきり異つたものになつてしまふ場合があります。

を言う場合と、ある決った本文の作品に対する特に異つた一つの本を指す場合と、二通り有つて、後者に於いて、現在知られているものは、殆んどが特定の名称を付せられてゐます。それは所藏者名が最も多く占めその他書寫者名や奥書の年号、其他藍紙本とか青表紙本等、本の型態によつて付けられたものなどがあります。

ところでお客様と同様に本屋でも所謂異本と言ふものには、なかなか目にかかりません。又たゞとある市場に出る様な事が有つても、日々飛び出るほどの高値で取引される事でしよう。

その
(三)
印

を言う場合と、ある決った本文の作品に対する特に異つた一つの本を指す場合と、二通り有つて、後者に於いて、現在知られているものは、殆んどが特定の名称を付けられてゐます。それは所藏者名が多数を占めその他書写者名や奥書きの年号、其他藍紙本とか青表紙本等、本の型態によつて付けられたものなどがあります。

ところでお客様と同様に本屋でも所謂異本と言ふものには、なかなかお目にかけません。又たとえ市場に出る様な事が有つても、日々飛び出るほどの高値で取引される事でしょう。

ります、それはその本の経路、伝來が分かる事と、もう一つは学者や著名人それに有名な藏書家の印がある為です。
もっと顕著な例は書画の場合で、落款の無いものは（御宸翰等は別にして）有るものと比較するところ相違が有ります。
書画を扱つて居られる方は必ず落款集や印譜を参考書に持つて居られる筈です。
同じ本が二冊有る場合、一方は書画を入れても印も無く他の一方は書画を込みも有る、そうした時にはその本の旧藏者は誰か、又書き込んだ筆者は誰かによつて、その本の値打は大きく左右されます。口本の内容が分からぬ様な物でも藏書印だけの値打で売買される事もなきにしもあらずです。
印章に使われる文字には読みにくく篆書体を使つたものが有り、苏え方で見ると案外面白い発見も有るかも知れません。

有 古 争 人 本 近 は 音 う 宿 治 月 音 法

こへはるのやら、それに別にしておいたのが数ミリの紙片となると鼻息をあらくしても飛散する。小片とて捨てられぬのは算術の虫とい算を思えば充分に判る。殊に俳句なんかは前後から判断してよむ訳に行かぬ。

補修の仕上がりであるが本職の如く美観を主とせぬ、ただ本がぬきで読めるように、これ以上こじれぬよう、寿命をのばして、後世に貴重な過去の遺産を伝えるの目的としている。といつても古文書やセロテープでの補修は甚だ

頂けない。すべて本の身になつて、
補修をして行きたいものである。
（勿論、私の手にできる本は文化
財に近い高級なものではなく、雑誌
の類である。高級、貴重なものは本
職の表具師に任せすべきものである。
念のため。）（大津市 医師

本の修理講座(2)

虫喰の直し方

今回は、和本篇(二)として、破損の修理について述べてみます。和本の破損の場合、表紙の破損と本紙の破損があります。

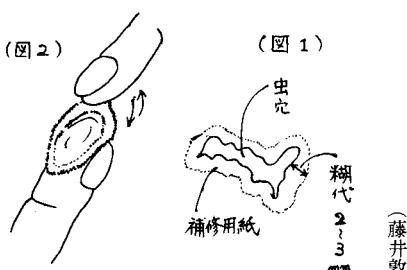
まず本紙の破損の多くは、虫喰損です。虫喰本の修理については前項西村宰爾氏「紙魚と虫喰い余話」にもくわしく述べておられ、重複するところもありますが、和本の修理としては一番大切なところです。でも一度整理して述べてみようと思います。さて虫喰本の修理の仕方は一、裏打ち、二、一部分直し、三、入紙があり、一の裏打ちは、中々技術が入り熟練を要しますので、後ちの機会に述べるとして、最も簡単で役立つ、二の部分直しを主に述べてみます。

部分直しの出来るのは、余りひどい虫喰で無いものです。ひどい虫喰で無いものでは、手間が大変で、仕上りも不恰好で良く有りません。裏打ちをした方が良いと思います。

部分直しを行なうに当つて大切なことは、補修用紙の選択と入手です。もちろん本紙に合った、和紙を選ぶのですが、紙質を考えねば成りません。大体、古いものは、キズ紙が大半で明治頃には、ワラ紙

もあり、中には、鳥ノ子紙や雁皮紙奉書、その他特殊な料紙もありますので、注意して下さい。用紙の入手方法ですが、現在市販されて居る紙店の和紙は古色が無く、紙質や色合がよく似ていますが、修理後、目立つ事がありますので、なるべく古紙を使用すべきです。古紙の入手は、古書店で和本の端本やヤブレ本、手に入れる事です。余白や見込を利用出来ます。古代帖や反古紙も重要なです。又表具裏紙も好材料です。古道具屋や書画店で、汚れのひどい軸やヤブレたものなど数百円程度であります。

江戸期の表具裏なら大抵キズキ紙を使用していますので、一本あればかなりの古色の白紙が取れるでしょう。表て表具のキレや紙も表紙やその他の修理に役立ちます。表具のはずし方は、全部に軽く霧吹をかけてしめりを与え、少し置きますとうまく剥れます。次に用紙の厚さですが本紙より厚く成らない程度が良く、色目は本の色の浅いものや本紙と同色の料紙より古色のものが必要です。



思わぬ出費!

その様な時、御蔵書を手放したくない方は、どうぞ御利用下さい。

○定休日 毎月7日、17日、27日
○営業時間 午前10時半より午後7時迄

Z ENSHOD 0
本専門の質屋
善書堂

京都市上京区河原町今出川上ル TEL.231-7711

さて部分直しの方法には、色々の方法がある様ですが、本紙に直接糊を付ける方法と補修用紙に糊を付ける方法があり、糊の濃度や必要な用具も異なります。

比較的に簡単で速くかつ本紙をいためる危険も少ない方法を紹介します。

まず綴糸をはずし、袋を開き、本紙の皺をきっちりとばし虫穴の部分も美しくのばして置きます。

準備が出来ましたら、修理用紙を虫穴に合せ(虫穴を完全に覆う)、大きさ、糊代(二三ミリ程度)を指でちぎりります(図1)。料紙をハサミで切るのはよくなない方法です。なぜならば指でちぎりますと、和紙の繊維がケバ立つてその

繊維が本紙とよく馴染み、出来上がりが大変ソフトで、又一旦貼つくと剝れる事があります。ちぎった用紙を指先に乗せ、糊代に糊を付けます(図2)。糊は普通の堅さで、糊代どちぎり口のケバ立った繊維の部分に極少量の糊をぬると云うのではなく、軽く軽く叩く感じで置いて行きます。糊が多いとその部分が堅くごわごわに成り、糊をぬりこむと料紙のがび乾くと引きつけられます。糊が完全に付けば、虫穴を覆い、貼付けます。そしてコテかアイロンで熱を加えて一氣

に糊を乾してしまいます。熱を加える時は必ず、あて紙の市販の糊で充分です。接着剤や化学糊は好ましくないと私は思います。

尚、小さい虫穴が多数あって、書物を解体しても、本紙が欠落し無いものは、入紙する方法良いと思います。入紙とは、一旦、綴糸を解体して、袋綴を開き、その間に、本紙大の薄紙を挟み込み、元の様に綴直し、虫穴の大きい所のみ極く少量の糊で補修する方法でこれでも十分保存にたえ得るものもあります。

以上の方法で簡単な部分直しが出来るのです。

ただこの方法にも色々と欠点があるかも知れません。もつと良い修理方法があれば御教示下さい。次回は表紙替と破損直しなどを予定しています。

(藤井敦)

愛書家の眼

(編集部より)

皆さまより数々のお手紙をいたしましたが、ほんとどこの往来発刊に対する過大(?)評価や励ましの言葉でした。編集者の期待した私共業者への批判・不満・提言が少なく、対抗する「古本屋の眼」が少々手持ちぶさたです。

そこでこれからはテーマを決め、誌上討論会をこの欄で展開してみようと思います。

古本屋の眼

其中堂 三浦佳一

本好きの友人と話をしているとき、「古本は高い」と言われます。どうも彼の言葉の裏には、「古本屋が利を取りすぎているからだ」という批判が込められているように思えてなりません。或いは、読者の中にも同じような思いの方が居られるかも知れません。

確かに本誌の後の目録を見ても、私の友人のような新米サラリーマンの安月給では、なかなか手が出そうにない価格が付いています。しかし、だからと言って、かりに古本が高いとしても、それは本屋が儲け過ぎているせいではない、と私は思っています。逆に言うなら、「仕

には思えるのです。

そもそも古本屋は新刊本屋と違つて、棚の商品は全て市場等で買切ってきたもので、当然売れ残りのリスクは、本屋自身が被らなければなりません。しかも、必ずや売れる筈の良書でも、然るべき買い手にめぐり合う迄、一年二年と入値の数倍の大儲け」ということは、個々の品の利幅については言えても、商品回転率を考えると経営全体としてのボロモウケは無い、又出来ないように、私は思っています。

こう見てくると、古本の高値は必ずしも本屋にとって有難いものではないことがわかつきます。何故なら、本の値段が高いと回転が鈍くなりますが、それを取り戻す為にさらに高い値を付けざるをえないという悪循環に陥る危険があるからです。今日、古本屋の努力は、多少幅を縮めてでも商品を捌くという方向にむけられるべきではないか、というのが私の考え方です。と述べて下さっています。

さんは「一冊の古本の値段というところでは、その店主にとっては商人としての信念や人格の現われなんですね」と述べて下さっています。古本屋にとっては少し面映いような言葉ですが、そんな心意気を皆裡に秘めていることは確かです。

「古本は高い」と言う前に足で古本屋を回って良書を掘り出していただくことを願つてやみません。ようと思つて勝手に価格を釣り上げているのではないのです。

ではなぜ高いのか。はつきり言つて私はわかりません。相場のこ

送り先 〒602 京都府中京区東洞院
三条下ル 京都古書組合内
京都古書研究会宛

第一回テーマは
「目録販売への注文」です。

ご意見は私共の目録販売への参考にもなりますのでお気付きの点はどんどんご投稿下さい。勿論他のテーマの投稿も歓迎しております。

会員紹介

石川古本店

左京区一乗寺里ノ前町24-21

(電) 71-115429

漫畫専門店他一般書籍
営業時間 午後一時~七時



石川栄基

2年ほど前よりボチ、ボチ、マイベースで営業しています。店と言つても約2坪ほどの小さな店で、どちらかと言えば、マニア向けだと思われます。本の事はあまり知らないので、古書組合の先輩方の指導のもとにやはりマイペースで頑張っております。

おもな活動は……
近畿及び藤井大丸の即売会に参加させていただいて居ります。近くへ来られたら一度話のタネにお越し下さい。

とは先輩にきいても「わからん」のうちの②の要素が非常に高くなっています。

一言です。ただ反町茂雄氏の言われる、古書相場形成の三要素①本のものの価値②稀観性③流行性は、古本用語いはりは引」は今号休ませていただきました。来号からは記事頁も充実いたしますので引続お読み下さい。

○会員が二十名となり各店少しくも目録を出すことになりますと今回のように記事予定の頁が一頁減つてしましました。そこで「古本学事

始」「古本用語いはりは引」は今号休

ませていただきました。来号からは

千円の定期購読料を前納して

いた方が多く、いよいよ責任重

大。再び鞭一発。

お読み下さい。

正念場。ありがとうございました。そこで「古本学事

始」「古本用語いはりは引」は今号休

ませていただきました。来号からは

記事頁も充実いたしますので引続

お読み下さい。

○会員が二十名となり各店少しくも目録を出すことになりますと今回

のように記事予定の頁が一頁減つ

てしましました。そこで「古本学事

始」「古本用語いはりは引」は今号休

ませていただきました。来号からは

千円の定期購読料を前納して

いた方が多く、いよいよ責任重

大。再び鞭一発。

お読み下さい。

正念場。ありがとうございました。

そこで「古本学事

始」「古本用語いはりは引」は今号休

ませていただきました。来号からは

記事頁も充実いたしますので引続

お読み下さい。

○会員が二十名となり各店少しくも目録を出すことになりますと今回

のように記事予定の頁が一頁減つ

てしましました。そこで「古本学事

始」「古本用語いはりは引」は今号休

ませていただきました。来号からは

記事頁も充実いたしますので引続

お読み下さい。

正念場。ありがとうございました。

そこで「古本学事

御注文は各書店へ

古歌総冊
イヅレモ金泥草花弁地模様ノ板上結構短冊ニテ
古歌ヲ書セルモノ、無署名ナルモ古筆家朝倉家畠山
家等ノ極札付、各歌集ノ歌番号各筆者ノ歿年を付ス。

〒606 京都市左京区北白川久保田町64-15
社会科系と
学術書専門 外山書店

大書堂

文
電話(〇七五)一三二一一九一四
振替 京都 一二二八〇 七
藻 常

〒604
京都市中京区寺町錦小路上ル

〒604
京都市中京区新烏丸通竹屋町上
ル

八木書店古書部

電話 (〇七五) 81-1389〇

| | | |
|-----|--------------------------|--------------|
| 1 | さへづり草虫の夢の巻古事隨筆 藤原長房 | 明43 三、〇〇〇 |
| 2 | 鷺筆餘滴 藤代素人 初版 隨筆 | 昭2 一、〇〇〇 |
| 3 | 韋提希夫人 安井廣度 仏教婦人叢書 | 大9 一、〇〇〇 |
| 4 | 教案中心地理教授の実際 宇野誠一 | 昭6 一、〇〇〇 |
| 5 | 華道全集基本の巻上 第一巻 角谷縁二 | 昭10 三、〇〇〇 |
| 6 | 上野直藏博士還暦記念論文集 | 昭38 三、〇〇〇 |
| 7 | 東洋文庫 15年史 岩井大慧 | 昭14 五、〇〇〇 |
| 8 | 頼朝 幸田露伴 | 明41 二、〇〇〇 |
| 9 | 映画スター全集5巻 廣瀬恒美龍田静枝光岡 | 昭4 二、〇〇〇 |
| 10 | 帝国法曹大觀 同編纂会 | 大11 三、〇〇〇 |
| 11 | 林信第一詩集 初版 | 嘉永元 三、〇〇〇 |
| 12 | グロテスク 小傷有 4月号 | 昭4 二、〇〇〇 |
| 13 | 杉本哲郎宗教画集 初版 著者署名人箱欠 | 昭24 五、〇〇〇 |
| 14 | 御歌所の研究 桓川平一 初版署名還暦記念昭14年 | 大11 三、〇〇〇 |
| 15 | 明治肖像錄 初版 藤野彦次郎 | 明31 八、〇〇〇 |
| 16 | 地蔵役行事 写本 | 江戸末 三、〇〇〇 |
| 17 | 内幕想話一篇 権妻内幕 駆山徳二郎 | 大15 六、〇〇〇 |
| 18 | 体験図解自彌術講話 井東憲 | 明16 六、〇〇〇 |
| 19 | 愛人情史 井東憲 | 明16 六、〇〇〇 |
| 20 | 部落 28号しバラ 24冊 蟻川知事旧蔵 | 大13 一、〇〇〇 |
| 21 | 喜雨亭抄折帳肉筆 | 江戸末 三、〇〇〇 |
| 22 | 大津物絵図 彩色肉筆 | 明久4 一、〇〇〇 |
| 23 | 明治名士写真6枚 毛利実美福沢等 | 明曆元 一、〇〇〇 |
| 24 | 科学画報一巻しバラ 83冊 汚傷有大 | 昭16 四、〇〇〇 |
| 25 | 泉州信田白狐伝 誉興撰写本 江戸末 | 明34 五、〇〇〇 |
| 26 | 都商職街風聞 京商人名簿 | 昭16 五、〇〇〇 |
| 27 | 祇園新地乙部花券通帳共 | 昭4 一、〇〇〇 |
| 28 | 染の形紙 30枚 | 昭4 一、〇〇〇 |
| 29 | 一年半止続2冊 中江篤介 | 昭4 一、〇〇〇 |
| 30 | 科学画報一巻しバラ 83冊 汚傷有大 | 昭4 一、〇〇〇 |
| 31 | さへづり草虫の夢の巻古事隨筆 藤原長房 | 明43 三、〇〇〇 |
| 32 | 鷺筆餘滴 藤代素人 初版 隨筆 | 昭2 一、〇〇〇 |
| 33 | 韋提希夫人 安井廣度 仏教婦人叢書 | 大9 一、〇〇〇 |
| 34 | 教案中心地理教授の実際 宇野誠一 | 昭6 一、〇〇〇 |
| 35 | 華道全集基本の巻上 第一巻 角谷縁二 | 昭10 三、〇〇〇 |
| 36 | 上野直藏博士還暦記念論文集 | 昭38 三、〇〇〇 |
| 37 | 東洋文庫 15年史 岩井大慧 | 昭14 五、〇〇〇 |
| 38 | 頼朝 幸田露伴 | 明41 二、〇〇〇 |
| 39 | 映画スター全集5巻 廣瀬恒美龍田静枝光岡 | 昭4 二、〇〇〇 |
| 40 | 帝国法曹大觀 同編纂会 | 大11 三、〇〇〇 |
| 41 | 林信第一詩集 初版 | 嘉永元 三、〇〇〇 |
| 42 | グロテスク 小傷有 4月号 | 昭4 二、〇〇〇 |
| 43 | 杉本哲郎宗教画集 初版 著者署名人箱欠 | 昭24 五、〇〇〇 |
| 44 | 御歌所の研究 桓川平一 初版署名還暦記念昭14年 | 大11 三、〇〇〇 |
| 45 | 明治肖像錄 初版 藤野彦次郎 | 明31 八、〇〇〇 |
| 46 | 地蔵役行事 写本 | 江戸末 三、〇〇〇 |
| 47 | 内幕想話一篇 権妻内幕 駆山徳二郎 | 大15 六、〇〇〇 |
| 48 | 体験図解自彌術講話 井東憲 | 明16 六、〇〇〇 |
| 49 | 愛人情史 井東憲 | 明16 六、〇〇〇 |
| 50 | 部落 28号しバラ 24冊 蟻川知事旧蔵 | 大13 一、〇〇〇 |
| 51 | 喜雨亭抄折帳肉筆 | 江戸末 三、〇〇〇 |
| 52 | 大津物絵図 彩色肉筆 | 明久4 一、〇〇〇 |
| 53 | 明治名士写真6枚 毛利実美福沢等 | 明曆元 一、〇〇〇 |
| 54 | 科学画報一巻しバラ 83冊 汚傷有大 | 昭4 一、〇〇〇 |
| 55 | 泉州信田白狐伝 誉興撰写本 江戸末 | 明34 五、〇〇〇 |
| 56 | 都商職街風聞 京商人名簿 | 昭16 五、〇〇〇 |
| 57 | 祇園新地乙部花券通帳共 | 昭4 一、〇〇〇 |
| 58 | 染の形紙 30枚 | 昭4 一、〇〇〇 |
| 59 | 一年半止続2冊 中江篤介 | 昭4 一、〇〇〇 |
| 60 | 科学画報一巻しバラ 83冊 汚傷有大 | 昭4 一、〇〇〇 |
| 61 | さへづり草虫の夢の巻古事隨筆 藤原長房 | 明43 三、〇〇〇 |
| 62 | 鷺筆餘滴 藤代素人 初版 隨筆 | 昭2 一、〇〇〇 |
| 63 | 韋提希夫人 安井廣度 仏教婦人叢書 | 大9 一、〇〇〇 |
| 64 | 教案中心地理教授の実際 宇野誠一 | 昭6 一、〇〇〇 |
| 65 | 華道全集基本の巻上 第一巻 角谷縁二 | 昭10 三、〇〇〇 |
| 66 | 上野直藏博士還暦記念論文集 | 昭38 三、〇〇〇 |
| 67 | 東洋文庫 15年史 岩井大慧 | 昭14 五、〇〇〇 |
| 68 | 頼朝 幸田露伴 | 明41 二、〇〇〇 |
| 69 | 映画スター全集5巻 廣瀬恒美龍田静枝光岡 | 昭4 二、〇〇〇 |
| 70 | 帝国法曹大觀 同編纂会 | 大11 三、〇〇〇 |
| 71 | 林信第一詩集 初版 | 嘉永元 三、〇〇〇 |
| 72 | グロテスク 小傷有 4月号 | 昭4 二、〇〇〇 |
| 73 | 杉本哲郎宗教画集 初版 著者署名人箱欠 | 昭24 五、〇〇〇 |
| 74 | 御歌所の研究 桓川平一 初版署名還暦記念昭14年 | 大11 三、〇〇〇 |
| 75 | 明治肖像錄 初版 藤野彦次郎 | 明31 八、〇〇〇 |
| 76 | 地蔵役行事 写本 | 江戸末 三、〇〇〇 |
| 77 | 内幕想話一篇 権妻内幕 駆山徳二郎 | 大15 六、〇〇〇 |
| 78 | 体験図解自彌術講話 井東憲 | 明16 六、〇〇〇 |
| 79 | 愛人情史 井東憲 | 明16 六、〇〇〇 |
| 80 | 部落 28号しバラ 24冊 蟻川知事旧蔵 | 大13 一、〇〇〇 |
| 81 | 喜雨亭抄折帳肉筆 | 江戸末 三、〇〇〇 |
| 82 | 大津物絵図 彩色肉筆 | 明久4 一、〇〇〇 |
| 83 | 明治名士写真6枚 毛利実美福沢等 | 明曆元 一、〇〇〇 |
| 84 | 科学画報一巻しバラ 83冊 汚傷有大 | 昭4 一、〇〇〇 |
| 85 | 泉州信田白狐伝 誉興撰写本 江戸末 | 明34 五、〇〇〇 |
| 86 | 都商職街風聞 京商人名簿 | 昭16 五、〇〇〇 |
| 87 | 祇園新地乙部花券通帳共 | 昭4 一、〇〇〇 |
| 88 | 染の形紙 30枚 | 昭4 一、〇〇〇 |
| 89 | 一年半止続2冊 中江篤介 | 昭4 一、〇〇〇 |
| 90 | 科学画報一巻しバラ 83冊 汚傷有大 | 昭4 一、〇〇〇 |
| 91 | さへづり草虫の夢の巻古事隨筆 藤原長房 | 明43 三、〇〇〇 |
| 92 | 鷺筆餘滴 藤代素人 初版 隨筆 | 昭2 一、〇〇〇 |
| 93 | 韋提希夫人 安井廣度 仏教婦人叢書 | 大9 一、〇〇〇 |
| 94 | 教案中心地理教授の実際 宇野誠一 | 昭6 一、〇〇〇 |
| 95 | 華道全集基本の巻上 第一巻 角谷縁二 | 昭10 三、〇〇〇 |
| 96 | 上野直藏博士還暦記念論文集 | 昭38 三、〇〇〇 |
| 97 | 東洋文庫 15年史 岩井大慧 | 昭14 五、〇〇〇 |
| 98 | 頼朝 幸田露伴 | 明41 二、〇〇〇 |
| 99 | 映画スター全集5巻 廣瀬恒美龍田静枝光岡 | 昭4 二、〇〇〇 |
| 100 | 帝国法曹大觀 同編纂会 | 大11 三、〇〇〇 |
| 101 | 林信第一詩集 初版 | 嘉永元 三、〇〇〇 |
| 102 | グロテスク 小傷有 4月号 | 昭4 二、〇〇〇 |
| 103 | 杉本哲郎宗教画集 初版 著者署名人箱欠 | 昭24 五、〇〇〇 |
| 104 | 御歌所の研究 桓川平一 初版署名還暦記念昭14年 | 大11 三、〇〇〇 |
| 105 | 明治肖像錄 初版 藤野彦次郎 | 明31 八、〇〇〇 |
| 106 | 地蔵役行事 写本 | 江戸末 三、〇〇〇 |
| 107 | 内幕想話一篇 権妻内幕 駆山徳二郎 | 大15 六、〇〇〇 |
| 108 | 体験図解自彌術講話 井東憲 | 明16 六、〇〇〇 |
| 109 | 愛人情史 井東憲 | 明16 六、〇〇〇 |
| 110 | 部落 28号しバラ 24冊 蟻川知事旧蔵 | 大13 一、〇〇〇 |
| 111 | 喜雨亭抄折帳肉筆 | 江戸末 三、〇〇〇 |
| 112 | 大津物絵図 彩色肉筆 | 明久4 一、〇〇〇 |
| 113 | 明治名士写真6枚 毛利実美福沢等 | 明曆元 一、〇〇〇 |
| 114 | 科学画報一巻しバラ 83冊 汚傷有大 | 昭4 一、〇〇〇 |
| 115 | 泉州信田白狐伝 誉興撰写本 江戸末 | 明34 五、〇〇〇 |
| 116 | 都商職街風聞 京商人名簿 | 昭16 五、〇〇〇 |
| 117 | 祇園新地乙部花券通帳共 | 昭4 一、〇〇〇 |
| 118 | 染の形紙 30枚 | 昭4 一、〇〇〇 |
| 119 | 一年半止続2冊 中江篤介 | 昭4 一、〇〇〇 |
| 120 | 科学画報一巻しバラ 83冊 汚傷有大 | 昭4 一、〇〇〇 |
| 121 | さへづり草虫の夢の巻古事隨筆 藤原長房 | 明43 三、〇〇〇 |
| 122 | 鷺筆餘滴 藤代素人 初版 隨筆 | 昭2 一、〇〇〇 |
| 123 | 韋提希夫人 安井廣度 仏教婦人叢書 | 大9 一、〇〇〇 |
| 124 | 教案中心地理教授の実際 宇野誠一 | 昭6 一、〇〇〇 |
| 125 | 華道全集基本の巻上 第一巻 角谷縁二 | 昭10 三、〇〇〇 |
| 126 | 上野直藏博士還暦記念論文集 | 昭38 三、〇〇〇 |
| 127 | 東洋文庫 15年史 岩井大慧 | 昭14 五、〇〇〇 |
| 128 | 頼朝 幸田露伴 | 明41 二、〇〇〇 |
| 129 | 映画スター全集5巻 廣瀬恒美龍田静枝光岡 | 昭4 二、〇〇〇 |
| 130 | 帝国法曹大觀 同編纂会 | 大11 三、〇〇〇 |
| 131 | 林信第一詩集 初版 | 嘉永元 三、〇〇〇 |
| 132 | グロテスク 小傷有 4月号 | 昭4 二、〇〇〇 |
| 133 | 杉本哲郎宗教画集 初版 著者署名人箱欠 | 昭24 五、〇〇〇 |
| 134 | 御歌所の研究 桓川平一 初版署名還暦記念昭14年 | 大11 三、〇〇〇 |
| 135 | 明治肖像錄 初版 藤野彦次郎 | 明31 八、〇〇〇 |
| 136 | 地蔵役行事 写本 | 江戸末 三、〇〇〇 |
| 137 | 内幕想話一篇 権妻内幕 駆山徳二郎 | 大15 六、〇〇〇 |
| 138 | 体験図解自彌術講話 井東憲 | 明16 六、〇〇〇 |
| 139 | 愛人情史 井東憲 | 明16 六、〇〇〇 |
| 140 | 部落 28号しバラ 24冊 蟻川知事旧蔵 | 大13 一、〇〇〇 |
| 141 | 喜雨亭抄折帳肉筆 | 江戸末 三、〇〇〇 |
| 142 | 大津物絵図 彩色肉筆 | 明久4 一、〇〇〇 |
| 143 | 明治名士写真6枚 毛利実美福沢等 | 明曆元 一、〇〇〇 |
| 144 | 科学画報一巻しバラ 83冊 汚傷有大 | 昭4 一、〇〇〇 |
| 145 | 泉州信田白狐伝 誉興撰写本 江戸末 | 明34 五、〇〇〇 |
| 146 | 都商職街風聞 京商人名簿 | 昭16 五、〇〇〇 |
| 147 | 祇園新地乙部花券通帳共 | 昭4 一、〇〇〇 |
| 148 | 染の形紙 30枚 | 昭4 一、〇〇〇 |
| 149 | 一年半止続2冊 中江篤介 | 昭4 一、〇〇〇 |
| 150 | 科学画報一巻しバラ 83冊 汚傷有大 | 昭4 一、〇〇〇 |
| 151 | さへづり草虫の夢の巻古事隨筆 藤原長房 | 明43 三、〇〇〇 |
| 152 | 鷺筆餘滴 藤代素人 初版 隨筆 | 昭2 一、〇〇〇 |
| 153 | 韋提希夫人 安井廣度 仏教婦人叢書 | 大9 一、〇〇〇 |
| 154 | 教案中心地理教授の実際 宇野誠一 | 昭6 一、〇〇〇 |
| 155 | 華道全集基本の巻上 第一巻 角谷縁二 | 昭10 三、〇〇〇 |
| 156 | 上野直藏博士還暦記念論文集 | 昭38 三、〇〇〇 |
| 157 | 東洋文庫 15年史 岩井大慧 | 昭14 五、〇〇〇 |
| 158 | 頼朝 幸田露伴 | 明41 二、〇〇〇 |
| 159 | 映画スター全集5巻 廣瀬恒美龍田静枝光岡 | 昭4 二、〇〇〇 |
| 160 | 帝国法曹大觀 同編纂会 | 大11 三、〇〇〇 |
| 161 | 林信第一詩集 初版 | 嘉永元 三、〇〇〇 |
| 162 | グロテスク 小傷有 4月号 | 昭4 二、〇〇〇 |
| 163 | 杉本哲郎宗教画集 初版 著者署名人箱欠 | 昭24 五、〇〇〇 |
| 164 | 御歌所の研究 桓川平一 初版署名還暦記念昭14年 | 大11 三、〇〇〇 |
| 165 | 明治肖像錄 初版 藤野彦次郎 | 明31 八、〇〇〇 |
| 166 | 地蔵役行事 写本 | 江戸末 三、〇〇〇 |
| 167 | 内幕想話一篇 権妻内幕 駆山徳二郎 | 大15 六、〇〇〇 |
| 168 | 体験図解自彌術講話 井東憲 | 明16 六、〇〇〇 |
| 169 | 愛人情史 井東憲 | 明16 六、〇〇〇 |
| 170 | 部落 28号しバラ 24冊 蟻川知事旧蔵 | 大13 一、〇〇〇 |
| 171 | 喜雨亭抄折帳肉筆 | 江戸末 三、〇〇〇 |
| 172 | 大津物絵図 彩色肉筆 | 明久4 一、〇〇〇 |
| 173 | 明治名士写真6枚 毛利実美福沢等 | 明曆元 一、〇〇〇 |
| 174 | 科学画報一巻しバラ 83冊 汚傷有大 | 昭4 一、〇〇〇 |
| 175 | 泉州信田白狐伝 誉興撰写本 江戸末 | 明34 五、〇〇〇 |
| 176 | 都商職街風聞 京商人名簿 | 昭16 五、〇〇〇 |
| 177 | 祇園新地乙部花券通帳共 | 昭4 一、〇〇〇 |
| 178 | 染の形紙 30枚 | 昭4 一、〇〇〇 |
| 179 | 一年半止続2冊 中江篤介 | 昭4 一、〇〇〇 |
| 180 | 科学画報一巻しバラ 83冊 汚傷有大 | 昭4 一、〇〇〇 |
| 181 | さへづり草虫の夢の巻古事隨筆 藤原長房 | 明43 三、〇〇〇 |
| 182 | 鷺筆餘滴 藤代素人 初版 隨筆 | 昭2 一、〇〇〇 |
| 183 | 韋提希夫人 安井廣度 仏教婦人叢書 | 大9 一、〇〇〇 |
| 184 | 教案中心地理教授の実際 宇野誠一 | 昭6 一、〇〇〇 |
| 185 | 華道全集基本の巻上 第一巻 角谷縁二 | 昭10 三、〇〇〇 |
| 186 | 上野直藏博士還暦記念論文集 | 昭38 三、〇〇〇 |
| 187 | 東洋文庫 15年史 岩井大慧 | 昭14 五、〇〇〇 |
| 188 | 頼朝 幸田露伴 | 明41 二、〇〇〇 |
| 189 | 映画スター全集5巻 廣瀬恒美龍田静枝光岡 | 昭4 二、〇〇〇 |
| 190 | 帝国法曹大觀 同編纂会 | 大11 三、〇〇〇 |
| 191 | 林信第一詩集 初版 | 嘉永元 三、〇〇〇 |
| 192 | グロテスク 小傷有 4月号 | 昭4 二、〇〇〇 |
| 193 | 杉本哲郎宗教画集 初版 著者署名人箱欠 | 昭24 五、〇〇〇 |
| 194 | 御歌所の研究 桓川平一 初版署名還暦記念昭14年 | 大11 三、〇〇〇 |
| 195 | 明治肖像錄 初版 藤野彦次郎 | 明31 八、〇〇〇 |
| 196 | 地蔵役行事 写本 | 江戸末 三、〇〇〇 |
| 197 | 内幕想話一篇 権妻内幕 駆山徳二郎 | 大15 六、〇〇〇 |
| 198 | 体験図解自彌術講話 井東憲 | 明16 六、〇〇〇 |
| 199 | 愛人情史 井東憲 | 明16 六、〇〇〇 |
| 200 | 部落 28号しバラ 24冊 蟻川知事旧蔵 | 大13 一、〇〇〇 |
| 201 | 喜雨亭抄折帳肉筆 | 江戸末 三、〇〇〇 |
| 202 | 大津物絵図 彩色肉筆 | 明久4 一、〇〇〇 |
| 203 | 明治名士写真6枚 毛利実美福沢等 | 明曆元 一、〇〇〇 |
| 204 | 科学画報一巻しバラ 83冊 汚傷有大 | 昭4 一、〇〇〇 |
| 205 | 泉州信田白狐伝 誉興撰写本 江戸末 | 明34 五、〇〇〇 |
| 206 | 都商職街風聞 京商人名簿 | 昭16 五、〇〇〇 |
| 207 | 祇園新地乙部花券通帳共 | 昭4 一、〇〇〇 |
| 208 | 染の形紙 30枚 | 昭4 一、〇〇〇 |
| 209 | 一年半止続2冊 中江篤介 | 昭4 一、〇〇〇 |
| 210 | 科学画報一巻しバラ 83冊 汚傷有大 | 昭4 一、〇〇〇 |
| 211 | さへづり草虫の夢の巻古事隨筆 藤原長房 | 明43 三、〇〇〇 |
| 212 | 鷺筆餘滴 藤代素人 初版 隨筆 | 昭2 一、〇〇〇 |
| 213 | 韋提希夫人 安井廣度 仏教婦人叢書 | 大9 一、〇〇〇 |
| 214 | 教案中心地理教授の実際 宇野誠一 | 昭6 一、〇〇〇 |
| 215 | 華道全集基本の巻上 第一巻 角谷縁二 | 昭10 三、〇〇〇 |
| 216 | 上野直藏博士還暦記念論文集 | 昭38 三、〇〇〇 |
| 217 | 東洋文庫 15年史 岩井大慧 | 昭14 五、〇〇〇 |
| 218 | 頼朝 幸田露伴 | 明41 二、〇〇〇 |
| 219 | 映画スター全集5巻 廣瀬恒美龍田静枝光岡 | 昭4 二、〇〇〇 |
| 220 | 帝国法曹大觀 同編纂会 | 大11 三、〇〇〇 |
| 221 | 林信第一詩集 初版 | 嘉永元 三、〇〇〇 |
| 222 | グロテスク 小傷有 4月号 | 昭4 二、〇〇〇 |
| 223 | 杉本哲郎宗教画集 初版 著者署名人箱欠 | 昭24 五、〇〇〇 |
| 224 | 御歌所の研究 桓川平一 初版署名還暦記念昭14年 | 大11 三、〇〇〇 |
| 225 | 明治肖像錄 初版 藤野彦次郎 | 明31 八、〇〇〇 |
| 226 | 地蔵役行事 写本 | 江戸末 三、〇〇〇 |
| 227 | 内幕想話一篇 権妻内幕 駆山徳二郎 | 大15 六、〇〇〇 |
| 228 | 体験図解自彌術講話 井東憲 | 明16 六、〇〇〇 |
| 229 | 愛人情史 井東憲 | 明16 六、〇〇〇 |
| 230 | 部落 28号しバラ 24冊 蟻川知事旧蔵 | 大13 一、〇〇〇 |
| 231 | 喜雨亭抄折帳肉筆 | 江戸末 三、〇〇〇 |
| 232 | 大津物絵図 彩色肉筆 | 明久4 一、〇〇〇 |
| 233 | 明治名士写真6枚 毛利実美福沢等 | 明曆元 一、〇〇〇 |
| 234 | 科学画報一巻しバラ 83冊 汚傷有大 | 昭4 一、〇〇〇 |
| 235 | 泉州信田白狐伝 誉興撰写本 江戸末 | 明34 五、〇〇〇 |
| 236 | 都商職街風聞 京商人名簿 | 昭16 五、〇〇〇 |
| 237 | 祇園新地乙部花券通帳共 | 昭4 一、〇〇〇 |
| 238 | 染の形紙 30枚 | 昭4 一、〇〇〇 |
| 239 | 一年半止続2冊 中江篤介 | 昭4 一、〇〇〇 |
| 240 | 科学画報一巻しバラ 83冊 汚傷有大 | 昭4 一、〇〇〇 |
| 241 | さへづり草虫の夢の巻古事隨筆 藤原長房 | 明43 三、〇〇〇 |
| 242 | 鷺筆餘滴 藤代素人 初版 隨筆 | 昭2 一、〇〇〇 |
| 243 | 韋提希夫人 安井廣度 仏教婦人叢書 | 大9 一、〇〇〇 |
| 244 | 教案中心地理教授の実際 宇 | |

御注文は各書店へ

| |
|--|
| 洋書・歴史・郷土史・民族・民俗・東洋・南洋・登山 探検書を主に集めています。本号では中国の文化・民 俗関係書の一部を紹介します。 |
| 読史広記 |
| 東洋美術史 化学より観たる東洋に代の文化 |
| 中國文學史の研究 故國時代文藝發展の系譜 |
| 漢書律曆志の研究 |
| 支那民族生活史 |
| 支那民族性の研究 |
| 法律から見た支那国民性 |
| これが支那! —支那民族性的學的解剖 |
| 支那民俗誌 |
| 支那民俗の展覧 |
| 支那習俗 |
| 支那の民俗 —日本民俗叢書 |
| 支那社会史—支那地理歴史大系(七) |
| 大支那大系(四) —風俗・趣味篇 |
| 支那学(第十卷本田・小島還暦記念号) |
| 北支 南支 中支の風物 |
| 黄土地帯—北支の自然科學とその文化 |
| 北京のギルド生活 |
| 中国奥地社会の技術と労働 |
| 南支那に於ける農村問題 |
| 江南文化開発史 |
| 支那の家族制 |
| 支那の食糧政策史 |
| 支那の建築 |
| 支那の民謡 |
| 支那文化史講話 |
| 支那の制度より見たる蒙古 |
| 中山久四郎 昭8 |
| 近重真澄 昭4 |
| 八百石 |
| 瀧川政次郎 昭16 |
| 四千石 |
| 能田・藪内 昭22 |
| 六千石 |
| 井坂錦江 昭18 |
| 六千石 |
| 松岡寿八 昭15 |
| 六千石 |
| 後藤朝太郎 昭11 |
| 九千石 |
| 内山 清 昭2 |
| 五千石 |
| 太田陸郎 昭18 |
| 九千石 |
| 永尾龍造 昭16 |
| 三千石 |
| 藤田元春 昭13 |
| 三千石 |
| アンダーソン 昭17 |
| 四千石 |
| バーチス 昭17 |
| 六千石 |
| 島恭彦 昭21 |
| 三、八百石 |
| 陳翰笙 昭11 |
| 七千石 |
| 岡崎文夫・池田静夫 昭15 |
| 七千石 |
| 諸橋轍次 昭15 |
| 七千石 |
| 伊藤清造 昭15 |
| 三、三千石 |
| 高桑駒吉 昭16 |
| 五千石 |
| 松本二郎 昭4 |
| 八千石 |
| 佐藤弘 昭13 |
| 八千石 |

〒606
京都市左京区田中里ノ前町56

〒606
京都市左京区浄土寺西田町八十一ノ四

〒604
京都市中京区河原町通三条上
朝日会館前

福田屋書店

竹岡書店

キ
ク
才
書
店

御注文は各書店へ

〒604

京都市中京区寺町通り三条北

其

中

堂

〒600 京都市下京区七条通堀川角

書

店

〒603 京都市北区小山下内河原町63

東方書

電話(075)四九一—三〇七一

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

昭

御注文は各書店へ

| | | |
|--------------------------------|-------------|-----|
| アポロコミックス | 冒險王フロク、貸本使用 | 昭45 |
| 蟻人境 毎日新聞SFシリーズ | 手塚治虫 | 昭45 |
| ピストルを頭に乗せた人々少年画報フロク | 手塚治虫 | 昭45 |
| 火の鳥 少女クラブフロク | 手塚治虫 | 昭45 |
| 少年マガジン昭44年13号～15号「ワンドーストリ」手塚連載 | 手塚連載 | 昭45 |
| 小学一年生 昭41年11月号「ヤングル大帝」手塚連載 | 手塚連載 | 昭45 |
| 少年サンデー昭35年35号読切「バチス号浮上せず」手塚 | 手塚 | 昭45 |
| ひょっこりひょうたん島 テレビコミックスB-15 | 手塚 | 昭45 |
| ビッグオリジナル昭47年9月20日号「料理する女」手塚読切 | 手塚読切 | 昭45 |
| 鉄腕アトム、少年フロク昭40年1月、2月、8月、10月、四冊 | 各 | 各 |
| 0 マン、鈴木出版B-15 | 1 ～ 6号 | 各 |
| まんがNo.1創刊1号～2号 第1巻～2号二折り三冊 | 各 | 各 |
| 冒險王「どろる」ぬえの春巻昭44年10月号 | 各 | 各 |
| 月刊ビックコミック7～8月 | 各 | 各 |
| なかよし、リボンの騎士連載 | 各 | 各 |
| 別冊少年サンデー「どろろ」妖怪伝代の巻、昭43年4月 | 各 | 各 |
| マンガ大学、少年ブックフロク、昭43年上・下2冊 | 各 | 各 |
| マンガ大学、少年ブックフロク、昭43年上・下2冊 | 各 | 各 |
| 別冊少年マガジン、昭46年4月 | 各 | 各 |
| 別冊少年サンデー、昭42年8月 | 各 | 各 |
| 0 マン、集英社版A-1～5昭35年 | 各 | 各 |
| 別冊少女フレンド、リボンの騎士特集号前後2冊昭42年 | 各 | 各 |
| ふしぎな少年、小学校ゴーデンコミックス①、②2冊 | 各 | 各 |
| レオちゃん 少学一年フロク 昭52年9月 | 各 | 各 |
| マグマ大使 少年画報フロク、少画コミックス昭42年8月 | 各 | 各 |
| 少女 昭28年5月、6月号 A-1～5版 | 各 | 各 |
| 少女の友 昭27年10月号 A-1～5版 | 各 | 各 |
| 少女世界 昭25年8月 A-1～5版 | 各 | 各 |

〒530
大阪市北区芝田町一丁目六番二号
阪急古書のまち
(株)臨川書店 大阪店

井上書店

石川古本店

日本で最初！

本格的四柱推命学叢書

（三月上旬発売）

四柱推命学用語事典

龜石厓風・著
京都書院・刊

◎本書の特徴

- 四柱推命学に関する用語、約千四百余語を一巻に収録した、唯一の専門事典です。
- 初步から奥伝にいたるまでの用語ごとに詳細な解説を付し、全文ひらがなを打つなど配慮しました。
- 随所に原文を紹介しましたので、プロの方にも充分研究、利用できます。

◎この様な方に活用できます。

- 父母・兄弟・配偶者・子女など
- の肉身縁の厚薄
- ・進路・適職・事業・金銭などの社会運
- ・婚期・相性・性格・健康・進学
- ・入試・老後の吉凶運
- ・その他、「人間性」を全般的に求める方々。

A5判／堅牢上製本／総一二〇〇頁／豪華布貼装箔押表紙／ケース
入／収録語数約一四〇〇語

■領価＝一三、〇〇〇円

(15)

発行所
京都書院

〒604
京都市中京区堀川通三条上ル西側
電(05)四二一九一二三・振替
京都663

宗教小論集

中世古祥道著

中村康隆著

本書は永く仏教民俗学の領域を開拓研究に努めてきた著者が自ら精選した珠玉の中短篇論文集。

宗教学はじめ仏教学、宗教社会学等の多岐にわたり、その論考は鋭く、興味深い問題の提起と示唆に富んでいます。

◆A5判・上製・函入・定価四〇〇〇円

中世古祥道著 徒然草研究

法名戒名大字典
陀羅尼字典
墓相大鑑

一一矢島脩仰著
一一二〇〇〇円
二八八〇〇円
二八八〇〇円

宇野弘頤編著
宇野弘頤編著
宇野弘頤編著

ターラ印度仏教史
ナーラ印度仏教史
寺本婉雅訳註

常盤大定著
五〇〇〇円
五〇〇〇円

仮性の研究
法性の研究
法性の研究

上杉文秀著
一二〇〇〇円
三二〇〇円

天台の教義と信仰
天台四教儀講話
天台の教義と信仰

二六〇〇円
五〇〇〇円
三二〇〇円

日本天台史
日本天台史
日本天台史

上杉文秀著
一二〇〇〇円
一二〇〇〇円

日本仏教教育史研究
日本仏教教育史研究
日本仏教教育史研究

斎藤昭俊著
五〇〇〇円
五〇〇〇円

仏教民俗の領域
房総禁制宗門史
仏教民俗の領域

中村康隆著
四三〇〇円
四三〇〇円

房総禁制宗門史
房総禁制宗門史
房総禁制宗門史

加川治良著
四五〇〇円
四五〇〇円

篆書字典
篆楷字典
篆書字典

太甫熙永編
八〇〇〇円
八〇〇〇円

六體千字文
篆楷字典
六體千字文

兵農二著
五〇〇〇円
二八〇〇円

朝鮮書道菁華
朝鮮書道菁華
朝鮮書道菁華

比田井天来編
三〇〇〇〇円
三〇〇〇〇円

行書字典

関克明選輯 関思亮編次 北川博邦解題

親字五二四八と中国一流書家の行書一六
〇四九を収録。臨書に最適の書!!

◆菊判・一二〇〇総販・定価一二〇〇〇円

国書刊行会

東京都豊島区巣鴨三一五一八(郵便番号一七〇)
電話〇三(九一七)八二八七 振替東京五一六五二〇九

